
Rejoice

Special Report



JCIの更新を迎えて

～環境整備と清掃の改善ポイント～

JCI (Joint Commission International) の認証を更新した順天堂大学医学部附属順天堂医院の感染管理認定看護師・石井幸さんと、当社RJCの責任者・清水に、これまでのJCI受審時の経験を踏まえて、特に清掃と環境整備についてお話を伺いました。

[石井幸さん 現所属]
順天堂大学医学部附属
順天堂東京江東高齢者医療センター
医療安全推進センター 感染対策室

学校法人順天堂 順天堂大学医学部附属順天堂医院

〒113-8431
東京都文京区本郷 3-1-3
TEL.03-3813-3111 (代)
<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/>



— 今回の更新において重要視した点について教えてください

石井: 受審前の事前審査(モックサーベイ)時に受けたいくつかの指摘事項に対して、RJCのメンバーと一緒に問題解決方法を考え、対策を具体化しました。多くの改善策の中でも特に重要だと思う3つのポイントをご紹介します。



左から亀岡、清水、石井さん、的場

1 マニュアル



RJCスタッフマニュアル

目次	
前記	1
目次	2
はじめに	3
RJCの役割	4
RJCの活動	5
RJCの活動	6
手袋の正しい着脱方法	8
手袋の正しい着脱方法	11
手袋の正しい着脱方法	13
手袋の正しい着脱方法	14
手袋の正しい着脱方法	15
手袋の正しい着脱方法	16
手袋の正しい着脱方法	17
手袋の正しい着脱方法	18
手袋の正しい着脱方法	19
手袋の正しい着脱方法	20
手袋の正しい着脱方法	21
手袋の正しい着脱方法	22
手袋の正しい着脱方法	23
手袋の正しい着脱方法	24
手袋の正しい着脱方法	25
手袋の正しい着脱方法	26
手袋の正しい着脱方法	27
手袋の正しい着脱方法	28
手袋の正しい着脱方法	29
手袋の正しい着脱方法	30
手袋の正しい着脱方法	31
手袋の正しい着脱方法	32
手袋の正しい着脱方法	33
手袋の正しい着脱方法	34
手袋の正しい着脱方法	35
手袋の正しい着脱方法	36
手袋の正しい着脱方法	37
手袋の正しい着脱方法	38
手袋の正しい着脱方法	39
手袋の正しい着脱方法	40
手袋の正しい着脱方法	41
手袋の正しい着脱方法	42
手袋の正しい着脱方法	43
手袋の正しい着脱方法	44
手袋の正しい着脱方法	45
手袋の正しい着脱方法	46
手袋の正しい着脱方法	47
手袋の正しい着脱方法	48
手袋の正しい着脱方法	49
手袋の正しい着脱方法	50
手袋の正しい着脱方法	51
手袋の正しい着脱方法	52
手袋の正しい着脱方法	53
手袋の正しい着脱方法	54
手袋の正しい着脱方法	55
手袋の正しい着脱方法	56
手袋の正しい着脱方法	57
手袋の正しい着脱方法	58
手袋の正しい着脱方法	59
手袋の正しい着脱方法	60
手袋の正しい着脱方法	61
手袋の正しい着脱方法	62
手袋の正しい着脱方法	63
手袋の正しい着脱方法	64
手袋の正しい着脱方法	65
手袋の正しい着脱方法	66
手袋の正しい着脱方法	67
手袋の正しい着脱方法	68
手袋の正しい着脱方法	69
手袋の正しい着脱方法	70
手袋の正しい着脱方法	71
手袋の正しい着脱方法	72
手袋の正しい着脱方法	73
手袋の正しい着脱方法	74
手袋の正しい着脱方法	75
手袋の正しい着脱方法	76
手袋の正しい着脱方法	77
手袋の正しい着脱方法	78
手袋の正しい着脱方法	79
手袋の正しい着脱方法	80
手袋の正しい着脱方法	81
手袋の正しい着脱方法	82
手袋の正しい着脱方法	83
手袋の正しい着脱方法	84
手袋の正しい着脱方法	85
手袋の正しい着脱方法	86
手袋の正しい着脱方法	87
手袋の正しい着脱方法	88
手袋の正しい着脱方法	89
手袋の正しい着脱方法	90
手袋の正しい着脱方法	91
手袋の正しい着脱方法	92
手袋の正しい着脱方法	93
手袋の正しい着脱方法	94
手袋の正しい着脱方法	95
手袋の正しい着脱方法	96
手袋の正しい着脱方法	97
手袋の正しい着脱方法	98
手袋の正しい着脱方法	99
手袋の正しい着脱方法	100

手袋の正しい着脱方法

手袋の正しい着脱方法

1. 手袋を正しく着用する。手袋を脱ぐときは、手袋の裏側を触らないように注意する。

2. 手袋を脱ぐときは、手袋の裏側を触らないように注意する。

3. 手袋を脱ぐときは、手袋の裏側を触らないように注意する。

サージカルマスクのつけ方

サージカルマスクのつけ方

1. マスクを顔に密着させる。

2. マスクを顔に密着させる。

3. マスクを顔に密着させる。

携帯すべきマニュアル

携帯すべきマニュアル

1. 携帯すべきマニュアル

2. 携帯すべきマニュアル

3. 携帯すべきマニュアル

病室清掃マニュアル

病室清掃マニュアル

1. 病室清掃マニュアル

2. 病室清掃マニュアル

3. 病室清掃マニュアル

石井: JCI受審時に、医療者だけでなくスタッフ全員が同じ方針のもとで働いているかということが問われます。同じ作業を人によって違うやり方をされていてはいけません。常に教育を重ね、高い水準の標準的な作業を誰もができるようにしなければなりません。そのための工夫がこのマニュアルです。

元々、当院には感染対策ガイドライン・マニュアルがあり、それを再編集した「ポケットセイフティーマニュアル」というポケット版小冊子を全職員に配布し、常時携帯させています。

清水: その冊子を元にして、RJCではオリジナルのポケット版小冊子を作成しました。院内のポケット版小冊子とは内容が重複しないようにしたり、写真の衣装を白衣ではなく清掃時ユニフォームにしたりして実践性を高めています。さらに内容の周知のため、冊子と照らし合わせながらの集合研修も行っています。この冊子は順天堂医院マニュアルの内容が多く記載されているので、記名式として所持管理も徹底しています。

石井: マニュアルがあっても現場で実践してもらえなければ意味がありません。日常的に携帯して何度も見ること、業務を確実に遂行してもらうことがねらいですので、とてもよい取り組みだと思います。なお、この冊子については、当院感染対策室でも監修し内容確認を行った上で発行されています。

感染対策だけでなく、職員の作業安全対策や緊急時の連絡先、就業規則、身だしなみやマナーも記載されており、就業に必要な情報が網羅されているので、スタッフの方々も安心して作業に従事できると思います。

2 オリジナルカート

石井:今まではシンプルな清掃カートに、清掃道具や洗剤を搭載していました。JCIでは、清掃に使用する洗剤や消毒薬について、徹底した施錠管理が求められます。また、カート内の清潔・不潔のゾーニングが不明瞭で作業効率が悪いと感じていました。さらに、標準予防策徹底のためには、いつでも防護装着が使用できるようになってほしいと思い、検討しました。

清水:コストはかかりましたが、多くの機能を盛り込みました。開発改良にあたって、石井さんの助言を元に、道具について清潔と不潔を大きくエリア分けし、不可逆的なワンウェイのルールを決めました。一度不潔になった物品は清潔な物品の場所には戻さな

いということです。そして、作業性を改善するため、色分けしたり、PPEを側面にマグネットで固定したり、ビニール袋類のためのポケット付きのトラッシュバッグをつけたりといった工夫をしました。また、タイヤは静粛性と回転性を向上させるため、四輪とも自在タイプの大きなタイヤに交換しました。これにより重たい清掃カートも楽に移動できるようになりました。さらには、鍵のかかるロッカーを配置し、洗剤や消毒薬を施錠管理するようになりました。

石井:常に院内の各階のバックヤードの定位置に収納することで、狭い共有スペースでも安全を確保できるようになり、とてもよくなったと思います。

Before 古いオリジナルカート。

New!

多くの機能を搭載した新しいオリジナルカート！

見栄えも作業性も悪く、患者さんから指摘されることも…。

トラッシュバッグの側面には、ビニール袋類を収納できるポケットが設けられている！

カートの側面に、PPEがマグネットで固定できる！

危険物が容易に取り出せないように、鍵のかかるロッカーを搭載！

キャストは4輪ともストッパー付の自在タイプに。

大型化したタイヤで、機動性と静粛性も向上！

3 洗濯室



JCIの評価をきっかけに設けられた洗濯室には、高温洗濯乾燥機が並ぶ。



洗濯室の棚には、セットされた資材が整然と並ぶ。供給量を管理し常にきれいな資材を使えるようにしている。



石井:以前は清掃用具を洗濯するスペースが狭く、洗濯機も充分とは言えない状況で、努力でカバーしてきていました。それが、JCIの評価をきっかけに、外部施設として隣接地に洗濯室を確保してもらいました。大型の高温洗濯機と大型乾燥機を新設し、高温処理(80℃、10分)を実施すると共に、乾燥もしっかりと行えるようになりました。これによりモップやダスタークロスの清潔を保つことができ、在庫数も大幅に減らすことができたそうです。

清水:これには施設課のご理解も大きく、清掃の外部委託の範囲ではありませんが、院内全体で考えていただけたと理解しています。作業場所が綺麗になったので、清掃スタッフのモチベーションも高まるという思わぬ効果もありました。

まとめ

石井:JCIは患者安全のためにあるべき姿を追求しています。それを現場でどのような形で具現化して継続していくか、共有していくかがとても大切です。委託する病院側としてもガバナンスが重要であり、ひいては質の保証や患者や就業するみなさんの安全の確保につながるのです。

安全で清潔かつ快適な療養環境をいかにして実現するか、医療者と清掃事業者の普段からのコミュニケーションに基づくチームプレーが、問題解決の糸口だと思います。

— ありがとうございます

編集後記 From Editor

弊社は順天堂医院において、滅菌、リネン類、清掃を業務受託していますが、いずれの業務も品質向上に不断の努力を続けています。日々の改善活動がノウハウとなり、他の病院での業務受託時のベースラインとなります。これによって、多くの顧客からよい評価をいただいています。現場主義の謙虚な姿勢こそ大切なのだということを顧みながら、これからも患者様のための、安全で清潔かつ快適な療養環境を実現していきたいと思っています。(清水)

参考) リジョイスカンパニー ニュースレターNo.2
[特集]病院清掃における品質向上の取り組み 2017年11月1日発行

全ては、お客様へ快適な環境を届けるために。

for the Client for the Society for the Ourselves

リジョイスカンパニーが
医療機関の様々な業務をサポートします。



Rejoice
Special Report

発行日: 2019年6月1日
発行: 株式会社リジョイスカンパニー ニュースレター編集部
〒105-0012 東京都港区芝大門 2-3-6 TEL.03-3433-0102 (代表)
URL: <http://www.rejoice-company.co.jp/>
Copyright © 2019 All Right Reserved.